

⑮	学 年	単 元(題材)	学 習 内 容
	4	角の大きさ 1	180° より大きな角度を求める。

ピザの角度を求めよう。



誤答例

・ 160° (求める反対の角度を求めてしまう。)

つまずき方

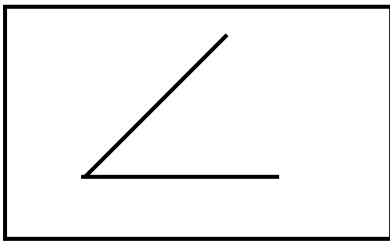
- ・ 分度器を使って180° 以上の角を測る見当がつかない。
- ・ どちらの目盛りを読むのか分からない。
- ・ 分度器の中心を合わせられない。
- ・ 補助線の引き方がわからない。
- ・ 求める反対の角度を求めてしまう。
- ・ どこの角を測ればよいか判断できない。

原因

- ・ 角度が身近でない。
- ・ 180° 以上の角を角として認識できない。
- ・ 分度器が正しく使えない。

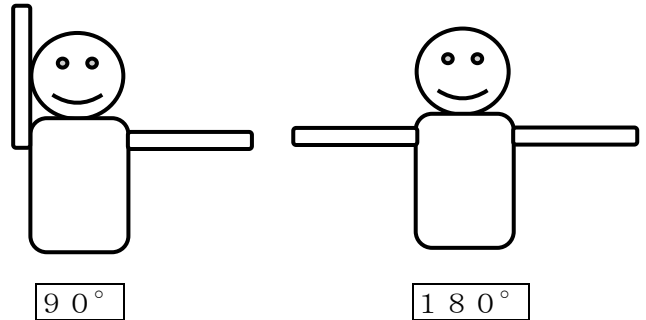
支援の手だて (指導方法, 教材・教具, ワークシート, ヒントカード, 指導形態の工夫など)

(1) **フラッシュカードの活用**
(朝の会・帰りの会でも活用)

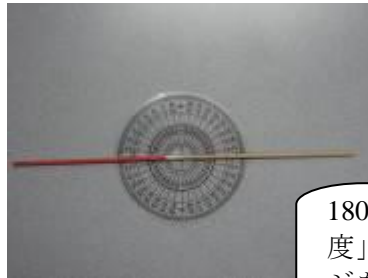


『90° より大きい? 小さい?』

(2) 角度の**身体表現**を取り入れる。



(3) 前段階として、角の大きさを回転の大きさとしてとらえることができる。
ように「**角づくり盤**」「**自作の扇**」「**360° 分度器**」等を活用する。



90° や 180° などは、**身体表現等**の遊びの中で習得させるのも有効です。声を出して合わせてみてはどうですか?

180° 分度器は「鋭角=角度」ととらえがちなイメージを変えます。



つまずきやすさを想定して教材・教具を準備しておくといいですね。

分度器の使い方の**デジタルコンテンツ**は**添付ファイル**を参照してください!